

教育委員あいさつ



教育長職務代理者
坂本 裕文

今年度も新型コロナウイルスの感染予防対策が続きそうです。しかし、子どもたちの学力向上のために、学校における授業改善は待ったなしです。町から配置された一人一台のタブレット端末等を効果的に活用しながら、主体的に学びを深める探究的な学習が期待されています。また、各家庭では学校と連携しながら、学校で学んだ学習内容をしっかり身に付けさせる家庭学習の時間の確保が重要になります。学校で「学ぶ」、そして家庭で「身に付ける」の繰り返しが、確かな学力につながると信じます。学校でも家庭でも、子どもたちの学力向上に向けた努力を今一歩進めていきましょう。

新型コロナ感染への不安。想像もできなかったロシアによるウクライナ侵略戦争への怒りと悲しみ。この「予測不可能な混迷の社会をどう乗り越えて行けるか」が私たちみんなに今問われています。

ここに教育の果たすべき役割はますます重要になってきていると思います。そして教育の基盤は家庭にあります。今年度から毎月第一日曜日を「長洲家庭の日」として家族の会話を大事にする運動が始まります。世代・立場・性別などの違いを越え、お互いが認め合い話し合い助け合う社会になることを目指したいと思います。



教育委員
隈部 壽明



教育委員
徳田美津子

長洲町では幼児から小学生、そして中学生まで一貫した英語教育が、「コミュニケーションの基礎をつくること」を目的に取り組まれています。子供たちが気軽にHello, と挨拶ができるようになったことは大きな成果ですが、より一層の充実が求められています。ああ、面白かった、ちゃんと通じた、という体験をたくさんして、人と関わることの喜びを子供たち自身が感じることができれば、英語教育は更に発展していくと思います。

二言挨拶はどのくらい実行できましたか？自分を振り返るのは、とても大切なことです。良かったところ、努力すべきところを書き出してみましょう。次のスタートは、そこからです。PTAより家庭教育の目標が発表されました。「㊤ なんでもかぞくと話そう」「㊦ がまんせず今の気持ちを伝えよう」「㊧ すなおにその言葉を認めよう」です。当たり前のようでとても考えさせられます。町民一致で取り組みましょう。

今年度も質の高い教育・確かな学力を推進すべく、皆さまのご協力をよろしくお願いします。



教育委員
上野 美登

ま ち の 学 校 紹 介



腹栄中学校

校長
牧山 純一
教頭
山田 公洋

教育目標

「心身ともに健康で、夢の実現のために豊かに学ぶ生徒の育成」～主体性が育つ活力ある学校を目指して～

今年度の取組

- 【基盤】教育的愛情と人権感覚を土台とした、5者協働(学校、家庭、地域、生徒、行政)の学校づくり
- 【資質・能力】主体性、問題解決能力(自分で考えて行動する力)の育成
- 【行動目標】大切にしたい「ABC」を意識した教育活動

Active = 活発に(行動する) Brain = 知的能力(考える) Challenge = 挑戦

→ R3年度の「かきくけこ」をさらに積極的に

- 【キーワード】『アウトプット』

☆学年担当制の充実を図り、全職員が全生徒をチームでサポートしていきます。

長洲中学校

校長
松井 明
教頭
宮本 斉之



教育目標

「長洲町を愛し、心のきずなを深め、お互いを高め合う生徒の育成」～長洲愛 深め合い 高め合い～

【生徒・教職員の行動目標】

長洲魂 創造を尊び 可能性に挑む

今年度の取組

- 目指す学校像
 - 1 活気ある学校づくり ～元気なあいさつ、返事が飛び交う学校～
 - 2 心潤う学校づくり ～互いを尊重し合う学校～
 - 3 地域とともにある学校づくり ～地域と連携・協働する学校～
- 目指す生徒像
 - 1 自分から気づき、考え、行動する生徒
 - 2 自他を大切にする生徒
 - 3 夢をもち、挑戦し続ける生徒
- 生徒に身につけさせたい資質・能力
 - 1 気づき、考え、行動する力
 - 2 思いやりの心
 - 3 最後まであきらめず、やり遂げる力

教育ながす

題字: 松永 光親(教育委員会 教育審議員)

No.67

編集: 長洲町教育委員会

- ☆教育長あいさつ……………P24
- ☆教育委員・学校紹介……………P25 ～ 26
- ☆転入先生紹介……………P27
- ☆長洲町教育……………P28
- ☆各課事業紹介……………P29 ～ 30
- ☆“ほっとスペースウィング”……………P31

～ 教育長あいさつ ～



教育長 戸越 政幸

新型コロナウイルスが感染拡大し、2年が経ちました、この間、学校生活や家庭生活においては、感染症防止対策で制限がかかる中、子どもたちは、元気に登校し勉強、運動に一生懸命取り組んでいます。少しずつ、学校行事やイベントも対策をしながら実施しているところです。

さて、長洲町教育委員会では、教員数の配置についての課題解決を図り、教育環境の充実を進めるため中学校の規模適正化に取り組んでいます。

その具体的な内容につきましては、今後、機会があるごとにお示ししていきますので、保護者並びに地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本年度は、特に次の項目について重点的に取り組んでまいります。

1. 小中学校の学力向上のための3つのアクションプラン

自分なりの問いを立て、主体的に立ち向かい、学びを深める探究的な学習を目指します。

- (1) 授業改善による学力の向上
 - ・学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的な知識と技能を身に付けさせます。
 - ・課題解決に向けて、自ら考え、学び合う授業の工夫を行います。
 - ・授業の中で「振り返る活動」を行い、達成感や向上心を高めます。
- (2) ICTの効果的な活用
 - ・教員のICT活用指導力を高め、効果的な活用に取り組むとともに授業づくりの工夫を行います。
- (3) 家庭と連携した家庭学習の充実
 - ・家庭と連携して生活習慣や学習習慣の確立に努めます。
 - ・自ら計画を立て学習できる児童生徒の育成に努めます。

2. 【重点努力事項】

- (1) 教職員の指導力向上及び児童生徒の学びの保障
- (2) ICTを活用した授業の工夫改善
- (3) 不登校児童生徒の未然防止と解消
- (4) 中学校統合の推進
- (5) 学校と地域の協働による人づくり
- (6) 文化財の保護と保存
- (7) ライフステージに対応したスポーツの推進とスポーツによる共生社会の実現
- (8) スポーツ環境の充実と推進



ようこそ長洲町へ！

転入の先生紹介

氏 役
名 職



六栄小学校

《前列》
教諭 高尾 幸美
教諭 殿崎 菜穂子
教諭 田上 涼香
教員業務支援員 霜上 ますみ
《後列》
主任事務員 松江 和人
教頭 岩本 龍二
教諭 定松 良彰



腹赤小学校

教頭 村田 裕紀
校長 左村 良一
講師 瀬戸 庸子



長洲小学校

教諭 徳留 光翼
特別支援教育支援員 本田 守
校長 澤田 敦
教諭 明名 啓
教諭 前田 祐輔



清里小学校

《前列》
教諭 川口 仁実
校長 福山 尚美
養護教諭 中村 絵里香
《後列》
教諭 道喜 智昭
教諭 井上 理摩子
特別支援教育支援員 木下 三幸



腹栄中学校

《前列》
教諭 青山 朱美
教諭 山田 公洋
講師 和田 寿子
講師 原口 典久
《後列》
事務職員 萩原 江美
講師 松尾 凌汰
教諭 原口 聡



長洲中学校

教諭 中村 頼勝
教頭 宮本 斉之
校長 松井 明
講師 野口 龍彦

どうぞよろしくお願いします！

まちの学校紹介



六栄小学校

校長 下田 真壽
教頭 岩本 龍二

教育目標

瞳かがやく「けやきっ子」～協働、自主、創造～
〈スローガン〉「子どもたちに寄り添う『チーム六栄』」

今年度の取組

樹齢100年を超える六栄小学校のシンボル「けやき」の木が、本年度も子どもたちの健やかな成長を見守っています。
さて、令和4年度は、新1年生45名を迎え、全校児童245名、全職員24名でスタートしました。本校では、「子どもたちに寄り添う『チーム六栄』」をスローガンに、子どもたち一人一人が自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力を育むことを大切にしています。そのために、全職員が心を一つに、一人一人の子どもにしっかりと寄り添って参ります。

また、子どもを中心に、学校、家庭、地域、行政が連携・協働し、『チーム六栄』として、「けやきっ子」一人一人の瞳が輝く学校を目指していきます。コロナ禍が続く中ですが、感染拡大防止の徹底に努めつつ、可能な限り教育活動を充実させて参りますので、本年度も、皆様の温かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



長洲小学校

校長 澤田 敦
教頭 井上 裕一

教育目標

確かな学力・豊かな心・健やかな体を育み、家庭・地域と連携した、子どもの「新しい時代を生き抜く学び」の創造～みんなの力で、みんなでつくる、アクティブ長洲小～

今年度の取組

人権尊重の視点を基底に、コミュニティ・スクールの特性を活かして家庭・地域との連携の下、主体的・協働的な教育活動を積極的に展開します。

今年度は、下記の資質・能力を育み、教育目標に迫ります。
【主体性】目的を持って進んで考え判断し、責任を持って行動し、やり遂げる力

【協働性】思いに気づき、目的を共有しながら多様な他者と関わり、協力して行動する力

【創造性】主体性、協働性を基盤として、新たな考えを作り出し、より豊かに生きる力

また、「よき伝統を継承し、新たな特色を創造し続ける学校(教職員)」、「子ども、保護者、地域住民から信頼される学校(教職員)」、「美しく整備された落ち着いた学校(教職員)」を目指して学校運営に取り組めます。



腹赤小学校

校長 左村 良一
教頭 村田 裕紀

教育目標

ふるさとに誇りを持ち、夢の実現に向かって生き生き学ぶ腹赤っ子の育成 ～笑顔 挑戦 思いやり～

今年度の取組

これからの社会を生き抜くためには、しっかりと根を育てることが大切であり、根をしっかりと張ることで、子どもたちの将来の夢の実現につながると考えます。そのために「よい習慣を持った子どもに」を教育理念とし、あいさつや掃除、くつ並べ等の凡事徹底を基盤に、発表力の向上や家庭学習の定着等にも取り組んでいきます。また、コロナ禍ではありますが、人や地域とつながる活動もできる限り取り組みたいと考えています。204名の子ども達の可能性をさらに伸ばしていくために、腹赤小スタッフ一枚岩となって頑張っています。



清里小学校

校長 福山 尚美
教頭 塩山 浩人

教育目標

「夢の実現に向けて、主体的に学ぶ児童の育成」
～校訓の行動指標化とわくわく感に満ちた教育活動の実践～

清里 チャレンジ！
き 気持ちのよいあいさつをする
よ 良いことを進んで行う
さ 最後まであきらめないで取り組む
と 友だちと仲よくする

今年度の取組

- ①地域の歴史と伝統を大切にしながら、変化の激しい社会を柔軟に生きぬき、夢に向かって挑戦する力を育てる教育を実践します。
- ②課題に気づき、自他の考えを尊重しながら、最適な解決をめざす児童を育てる教育活動を展開します。
- ③全職員で教育課題・経営方針等を共有し、確実な教育実践を通じて、児童・保護者・地域の信頼に込める魅力ある学校づくりに取り組みます。



長洲町PTA連合会
西尾 憲明 会長



今年度の活動につきまして、コロナ禍で出来ることを模索しながら、子どもたちのためになる活動が出来ればと考えております。
その一つとして、今年度は、毎月第一日曜日を「長洲家庭の日」として、家族みんなで話し合い、楽しく健全で明るい家庭づくりの日となるような活動を検討しております。

これからの長洲町PTA連合会の活動への、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

長洲町PTA連合会
会長 西尾 憲明

まちの学校教育（事業紹介）

【教育委員会議】

教育委員会は、「地方教育行政の組織および運営に関する法律」に基づき、学校教育や文化・スポーツなどを含む社会教育に関する事務を管理・執行しています。

また、教育施策を具体化した地域教育計画の主体として、その組織・運営にあたる地域教育の責任機関でもあります。

【ながす未来塾】

受験を控えた中学3年生を対象に、夏休み期間や休日に、民間の学習塾から講師を派遣して、学力向上の取組を行っています。

生徒の進路選択の不安軽減や希望する進学校への実現のため、サポートしていきます。



【夢の教室】

青少年の健全育成のため、平成22年度から日本サッカー協会に業務委託して「夢の教室」を実施しています。

現役または元スポーツ選手などを「夢先生」として迎え、小学校5年生と中学校2年生を対象に、夢を持つことや仲間と協力することの大切さなどゲームとトークを通して子どもたちに伝えています。（令和3年度はオンラインで実施しました。）



【就学援助制度】

経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、教育に係る費用の一部を援助することで義務教育の円滑な実施を図ります。

- ◆援助内容
学用品費、学校給食費、修学旅行費、医療費など
- ◆申請方法
学校を通じて申請を受け付けます。
※学期途中の転校者や、諸事情により経済状態が悪くなった場合は、随時申請を受け付けます。

【中学校規模適正化（中学校統合）の推進】

中学校の学級数減少により、教員の配置数も減少しています。その影響により免許外授業や教科の兼務といった課題が生じています。

このような課題解消と質の高い教育環境を整備するため、中学校の規模適正化の推進に取り組んでいます。

【長洲町総合教育会議】

教育を取り巻く環境が大きく変化している中、町と教育委員会とが互いに連携しながら、町の教育課題やこれからあるべき姿を共有し、教育行政を推進します。



【児童生徒や教職員等に関する事務】

教科書や図書などの学校教材の整備をはじめ、児童生徒の転入転出や区域外就学手続き、学級編制、教職員等の健康診断に関することなど、国や県教育委員会と連携しながら事務手続きを行っています。

【小中学校英語教育】

小学校では、令和2年度から外国語の授業が教科化しました。小中学校に外国語指導助手（ALT）や英語専科教員を配置し、コミュニケーション活動を通じて生きた英語を学習します。

町独自の取組として、町内保育園・認定こども園と小学校低学年に外国人講師を配置し、歌やゲームで英語に慣れ親しむ活動を幼児期から始めています。

また、英語への意欲の向上と経済的負担の軽減を図るため、実用英語技能検定（英検）の検定料の半額補助を行っています。

【学校施設整備・ICT環境整備】

学校施設の長寿命化を図るため、計画的な改修や工事を行い、児童生徒が安心して快適な学校生活を送ることができるよう、学校施設の適正な維持管理を行っています。今年度は、六栄小学校体育館の長寿命化改良工事を予定しています。

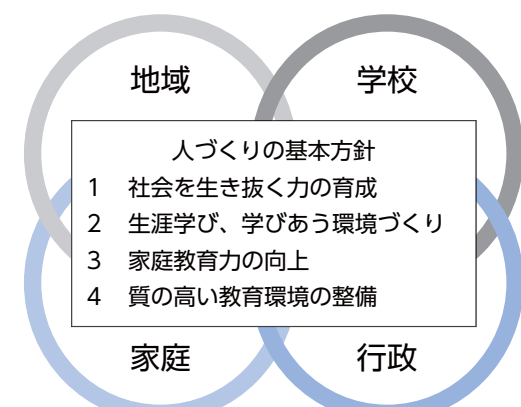
さらに、エアコンや地中熱システムなどの空調機器やICT機器のタブレット端末、無線LANなどの設備の維持管理を行っています。



令和4年度 長洲町の教育

基本理念 主体性をもち、生涯を通じて学ぶ人づくり

町教育行政として達成を目指すべきもの



教育行政の4つの基本方針

基本方針	教育目標
社会を生き抜く力の育成	(1) 確かな学びの推進 (2) 豊かな心の育成 (3) 健やかな体の育成 (4) 人権の尊重（いじめ・体罰の根絶） (5) 不登校対策の充実 (6) グローバルに活躍できる人材の育成 (7) インクルーシブ（多様性）教育の推進 (8) 情報リテラシー（情報活用能力）の育成
生涯学び、学びあう環境づくり	(1) 生涯学習の推進 (2) スポーツの推進 (3) 地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくりの推進 (4) 放課後における居場所づくりの推進 (5) 文化・芸術の振興と文化財の保存
家庭教育力の向上	(1) 基本的な生活習慣の定着 (2) 相談体制の充実 (3) 家庭教育への支援の充実
質の高い教育環境の整備	(1) 教育環境の充実 (2) GIGA スクール構想の推進 (3) 学校の防災・安全対策の推進 (4) 教職員の資質・能力の向上 (5) 魅力ある図書館事業の推進 (6) 社会教育・社会体育・文化団体の活動支援の充実 (7) 就学等に係る経済的負担の軽減



上記のQRコードで第2期教育振興基本計画が閲覧できます。

ほっと「ウイング」 スペース

～子どもたちの心の休憩場所～

ほっとスペース「ウイング」は、さまざまな理由で学校を休みがちになっている子どもたちの居場所です。

誰もが持っている「翼（ウイング）」を大きく羽ばたかせるため、より良い生活習慣を身に付け、学校復帰のためのエネルギーを蓄える支援を、ご家族と一緒に考えていきたいと思ひます。

◎主な活動内容

- ・より良い生活習慣を身に付ける家庭支援
- ・集団生活への適応支援
- ・ひとりひとりの学力に応じた学習支援
- ・軽スポーツやさまざまな体験活動
- ・家庭への訪問相談
- ・学校復帰のための教育相談

*子どもさんの状況に応じた支援を重視します。

◎教室の開設日など

- ・毎週月曜日から金曜日の午前9時から午後3時まで開設しています。（祝祭日は除きます。）
- ・ウイングに登校した日数は、学校の出席と同じ取り扱いになります。



アクセス



相談・見学・体験 お待ちしております。

子どもからでも保護者からでも
いつでもお待ちしております

指導員 馬場 陽一
西澤真理子
片山 仁美



場所：長洲町大字長洲 2414 番地 5
電話・FAX：0968-57-8410

生涯学習課の紹介

社会教育委員会

社会教育法および長洲町社会教育委員条例に基づき、委員6名を配置し、社会教育に関する諸計画の立案のほか教育委員会に対して、助言を行うなど幅広く活動しています。

文化財保護委員会

文化財保護法および長洲町文化財保護条例に基づき、委員5名を配置し、長洲町にとって重要な文化財を指定し、その保存および活用のため必要な措置を講じ、もって長洲町の文化の向上に資することを目的に活動しています。

スポーツ推進委員協議会

スポーツ基本法に基づき、委員15名を配置し、町体育行事への参加協力のほか、地域へのスポーツ指導や町のスポーツ事業への指導や助言、スポーツ振興イベントの企画・運営など子どもから高齢者までの誰もがスポーツに親しむことができるよう活動しています。

『家庭教育推進』

子ども園・保育所、小中学校の児童生徒や保護者、教職員、住民の方を対象に、世代に応じた、子育てや家庭での教育などをテーマに研修会を実施します。

また、県が推進するくまもと「親の学び」プログラム講座も幼・保・小中学校での実施を推進します。

『人権教育推進事業』

長洲町人権教育推進協議会において、子ども園・保育所職員、小中学校児童生徒・保護者や関係各団体・企業等の代表者、住民の方を対象に、人権教育研修会や講演会を開催し、人権教育の意識の高揚を図るとともに、啓発活動に取り組みます。

『放課後子供フレンズ』

学童保育と一体型で実施している放課後子供教室は、子どもたちにさまざまな分野の体験活動を提供しながら、楽しく安心・安全に過ごせる居場所づくりに取り組んでいます。

『文化財保護事業』

文化財保護委員と連携し、有形・無形の町指定文化財の適正な保護と管理に努め、保存への支援や継承に取り組みます。

『公民館事業』

中央公民館を拠点に様々なテーマをもとに公民館講座を開催しています。小学校校区に設置してある地区公民館では、校区親睦スポーツ大会や防災訓練などを実施しています。

また、自治公民館では、趣味、教養、健康など住民の学習要求に応えるとともに、より身近な生活に即した分野の講座や教室を年間を通じて開催します。

『読書啓発事業』

子どもたちがたくさんの本と出会い、本に親しむを持ち、読書意欲の向上を図るため、指定管理者と連携し配本事業などに取り組んでいます。

また、3か月健診時には、すべての赤ちゃんと保護者が絵本を通して、心ふれあうひとときを持つため、絵本を無料配布し、読み聞かせの方法やアドバイスなどを行うブックスタート事業を行い、子ども読書活動推進に取り組んでいます。

『生涯スポーツの推進』

すべての町民が生活の中にスポーツを取り入れ、スポーツ活動の楽しさと健康増進、親睦融和を図るために町民参加のスポーツ大会を開催します。また、NPO法人長洲にこにこクラブや総合スポーツセンター指定管理者の長洲町SSC共同事業体と連携し、さまざまなスポーツ活動を推進します。

併せて、全国大会等の各種競技大会の出場する選手に対する奨励金を交付し、競技スポーツの支援に取り組んでいます。

